

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	上峰デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区上峰3丁目10番6号</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンター利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成12年4月 延床面積 249.79㎡ 構造 鉄骨造 地上2階建</p> <p>④事業内容 ・老人デイサービス事業(定員15人) ・生きがい活動支援通所事業</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 明日栄会
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 8,370千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数3,215人(前年度3,275人) ・稼働率82.8%(前年度84.6%) ◇業務実施状況 コロナ禍の中感染予防を第一に、利用者が居宅において、自立した日常生活を営むことが出来るよう、日常生活の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の生活機能の維持と家族の負担軽減を図る目的で、一人一人のニーズに応じたサービスの提供に努めた。 なお、地域との連携はコロナ禍により大きく制約を受けた。</p> <p>②維持管理業務の状況 害虫駆除 年1回 フィルター、空調清掃 年2回 ワックス清掃 年1回 消防設備点検 年2回 避難訓練 年2回 建築物定期検査 年1回</p> <p>③その他の業務 毎月行事 フラワーアレンジメント、クッキング、リハビリ体操、作品制作 季節行事 桜見学、菖蒲湯、バラ見学、紫陽花見学、七夕、夏祭り、クリスマス会、ゆず湯、餅つき、初詣、豆まき、ひな祭り その他行事 コロナ予防で外出する企画は大幅に縮小を余儀なくされた。</p>
(6)収支状況	<p>①収入 ・利用料金収入36,807千円(前年度36,186千円) ・指定管理料8,370千円(前年度7,800千円)</p> <p>②支出 ・人件費38,461千円(前年度38,170千円) ・事務費885千円(前年度507千円) ・施設管理費2,847千円(前年度2,565千円) ・事業費3,499千円(前年度3,590千円)</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>①利用者アンケートを年1回(3月)実施し、利用者・家族からの意見を事業運営に取り入れている。</p> <p>②今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「運営推進会議」の開催は報告書・質問・回答の形式で行った。コロナ関連質問事項3点回答、意見・要望なし。</p>
(8)その他	<p>①利用者アンケート、意見・要望なし。</p> <p>②「運営推進会議」コロナ関連質問事項3点回答、意見・要望なし。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
部署内会議、研修の充実によるサービスの質の向上	3カ月に1度、部署内会議を開催し、コロナ禍におけるフレイル予防、運動量低下対策として体操・レク内容の見直しを図り、運動量の増加につとめた。法人内部研修では、eラーニング形式で実施し、知識向上を図った。
利用者、ご家族、地域の関係者などの意見を施設運営に生かす	年1回の利用者・利用者ご家族アンケート調査及び運営推進会議(書面にて:報告書提出)から内容を確認し、安全・安心な利用につなげるため、更なる感染予防対策の徹底につとめた。
建物、設備の老朽化に伴う不具合への対応、ケア環境改善	在宅支援を行う事業所として定期的な設備点検を実施し、施設の維持管理を計画的に行った。また、衛生管理の重要性、感染予防対策の一環としてソーシャルディスタンスを意識したレイアウト変更、テーブルパーテーションの設置などを行った。
コロナウィルス感染症対策による利用者、職員の健康管理と事業維持	感染予防対策として、各居室のアルコール消毒チェックリスト表を用いるなど、施設内衛生管理強化につとめた。利用者検温1日3回記録、職員出勤前体温計測記録表を活用し、日々の体調管理の徹底から安全な運営につなげ、問題を発生させなかった。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

①3カ月に1度の部署内会議、法人内部研修、法人各部署管理者会議等など関係各所との連携からサービスの質の向上を図り、コロナ禍においても通年で高い稼働率(80%以上)の維持ができ、運営は安定している。
②利用者アンケート調査・運営推進会議のほか、居宅介護支援事業所はじめとする関係各所との連携、情報提供から適切な管理運営が実施できた。
③子どもひなん所110番の家、まちのクールオアシスの登録など地域活動への参加から、地域との密接な関係構築につとめ、地域の拠点となるよう尽力した。
④建物設備の定期的な点検・清掃などの保守管理から老朽化に伴う不具合箇所の更新、徹底した感染予防対策による衛生管理などケアに関する環境改善に注力した。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】

新型コロナウイルスの感染予防に配慮し、3か月に一度部署内会議を開催し、コロナ禍におけるフレイル予防、運動量低下対策のための体操・レク内容の見直しを図り、利用者の運動量増加に努めた点を評価した。

【経費の削減に関する取組】

予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

【適正な管理運営の確保に対する取組】

新型コロナウイルス感染症対策について、施設内の衛生管理強化を行い、事業運営の維持に努めた点を評価した。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。